

5—7. 普及状況

平成 14 年に初めて設置されたランブルストリップスは、現場道路担当者の評価が良好であり、北海道開発局は、平成 15 年度から正面衝突事故対策として積極的に採用された。懸念されていた騒音等の苦情の報告もなく、北海道内国道におけるランブルストリップスの施工延長は、平成 17 年度末(H18.3)で、31 路線の総延長 402km に達した。

北海道の国道以外にも普及しつつあり、その実績を以下に示す。

- ・北陸地整、中部地整、中国地整、東北地整、新潟県、長野県、石川県、島根県他：約 39km
- ・JH 道央道、常磐道、上信越道、 磐越道他：約 63m

(平成 18 年 4 月寒地土木研究所調べ)

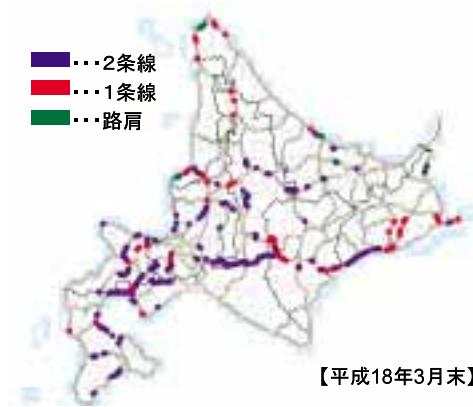


図 5-11. 北海道内国道におけるランブルストリップス設置箇所

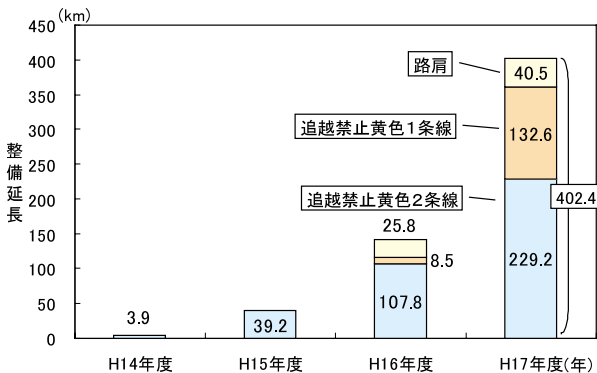


図 5-12. 北海道の国道におけるランブルストリップス